

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.293

5 月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：L T
ユース

今月の聖句 コリント信徒への手紙Ⅱ 5：17
キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者
なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

2023~2024年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウロドセン (デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長： 大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

5月第1例会(植樹例会)

日時：5月18日(土) 午前10時 駐車場集合

場所：那須街道アカマツ林美林

小雨決行

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

2024年度那須ワイズ5月植樹例会のご案内

あなたの手で

緑を育てませんか

恒例の植樹例会を下記により実施致します。お問い合わせの上、ご出席くださるようご案内致します。小雨決行ですが、晴天になりますようお願いしております。

1. 月日：2024年5月18日(土曜日) 10:00
2. 場所：那須街道「赤松美林」塩那森林管理所指定植林地
3. 集合場所：現地集合(那須街道赤松林入り口の駐車場)
4. 内容：植樹等・周辺のゴミ拾い

5. 行程

タイムスケジュール	内容
10:00	集合
10:15	植樹現場へ
10:30	あいさつ・塩那森林管理所職員からの植樹説明
10:30~11:30	植樹実施
11:30	周辺のゴミ拾い・解散

6. 装備(個人装備・雨具・軍手・帽子・マスク・タオル・飲み物等)

参加者は全員保険加入を致します。

*塩那森林管理所職員の皆様には大変お世話になります。
ヘルメット・苗木・唐鍬等用具を準備して頂いています。

連絡先

那須ワイズクラブ 会長代理 田村 修也
(090-5545-6763)

4月例会データ(出席率：75%)

在籍者 8名

出席者 6名 メネット 2名 スピーカー 2名

ゲスト 14名

5月 Happy Birthday

なし

・北東部第3回評議会

日時：5月11日(土) 午後7時~ ZOOMにて開催

・6月第2(役員会)例会

日時：5月24日(金) 午後4時30分

場所：田村副会長宅

第27回東日本区大会

場所：北海道帯広市

日時：6月1日(土) 1日開催

巻 頭 言

鈴木 保江

子育て奮闘記 忘れてた19弾くらい

今日の主人公は、次男坊。

4月に 次男坊 光は高校受験を終え地元の高校に進学となりました。ぎりぎりまで受験校が決まらずというか、将来何をを目指すのかも決まっていなかったので高校も決まらずでした。やっと数学の勉強がしたい、大学も目指したいと地元の高校が決まったのは年末でした。やりたいことなど自分の言葉で表現できずにいたところやっと最近、言えるようになり、高校受験のために塾に行きたい、東京で行われるゲームの大会に行きたい、友達が泊まりに来たいなどやりたいことをどんどん発信し活動するようになりました。急に自信が持てるようになり、自分で考えられるようになってきたことが大人になってきたんだなと実感したのもつかの間、母親としては、毎日のお弁当作りが大変だなと思うところです。長男と違いお弁当に対しての注文が多く、ご飯はいやだ、量が多い、噛むのに時間がかかるからあまり噛まないものもいい、サンドイッチがいいなど、など、など。頑張って作っております。男子にはお弁当の量が少ないと思いますが、二人とも身長がのびて私は鈴木家で一番のちびになってしまいました。

そんな忙しい中、うれしかったことがありました。長男 聖也が、「僕、お金をあげたい人がいる、でも僕はバイトもしていないのでお金はない。お金をください。」と言ってきました。よく話を聞いたところ、弟が高校受験に合格したのでお祝いをあげたいということでした。地元の高校に入るための勉強を頑張って合格したのであげたいと思ったそうです。長男は、地元ではなく離れた私立高校に行っていましたので自分より頑張ったんだと思ったのでしょう。「合格おめでとう」と言いながら、弟にお祝いを渡しておりました。出世払いで返していただきましょう。最近は二人とも会話もないのが日常でしたが、少しずつおとなになっていく二人の一場面でした。

子供の成長が頼もしくも思えた春でしたが、子育ては、いつまで続くのでしょうか。子離れ、親離れなどいつの間にかしているものと思いますが、我が家はもう少し子育て奮闘です。



2024. 4.26 4月例会（公開講演会 能登半島地震被災支援活動報告会）於：西那須野教会

4月第1例会(公開講演会 能登半島地震被災支援活動報告会)報告

日時：2024年4月26日(金)午後6時

場所：西那須野教会

出席者：河野、田村、原田、藤生、平山、村田のメン、田村、村田のメネット、ガストスピーカー(那須日本赤十字病院医療社会部師長井戸沼由美子先生及び高橋慶悟主事(災害地派遣者))、ゲスト：西那須野教会潘牧師ご夫妻、他9名、計22名

「能登半島地震災害支援活動報告会」を、災害支援活動を行った那須赤十字病院より井戸沼由美子医療社会部師長と高橋慶悟主事を講師に招いて行いました。



初めに、高橋主事より報告を頂きました。高橋主事は、日本赤十字社の災害支援において1月7日~12日まで那須赤十字病院から派遣され、現地にて支援を行いました。那須赤十字病院からはその後、1月18日から、2月8日から、とそれぞれ1週間ほど派遣が行われましたが、それぞれの時期によって求められる支援が異なったそうです。高橋主事が派遣された時期は震災後1週間のため「医療のニーズ」が高かったとのことでした。ただ震災による負傷というより避難所でのインフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症への対応が多かったそうです。避難所での集団生活や水は有るものの「歯みがき」や高齢者は「入れ歯洗浄剤」など衛生用品が足りないなどの理由から感染が広がったようでした。1月18日からの時期は、感染症は落ち着いたものの「かかりつけ医、も被災したため普段から飲んでいる処方薬が終わったなどの避難生活における医療ニーズが求められたそうです。また避難生活も3週間になるためストレスによる体調不良や心のケアへの支援が多くなったようです。2月8日からの時期は、避難生活1ヶ月を過ぎているため「心のケア」が主に求められたそうです。そのためマッサージや心のケアが出来る職員を多く派遣したとのことでした。また避難所の窓補修など環境整備も行い、少しでも避難者のストレスを取り除くことも行われたそうで



す。災害が起き、避難をした際、色々な支援物資は必ず届くが、その人に合った生活用品があるとは限らず、無いことによりストレスがかなり大きなものになるとのこと、そのため歯みがきや下着など避難用に準備しておくことが大切であり、また自分の身を守る術を備えておき事が大切をお話しされました。

続いて、井戸沼師長より報告を頂きました。井戸沼師長は派遣隊を支える後方支援を行ったとのこと、その報告を頂きました。後方支援とは、派遣前は事前の情報収集や派遣物資の準備、派遣中は派遣者からの報告をまとめ、的確な指示を伝え、また得た情報を次の派遣隊へ伝えること、派遣後は帰還した派遣者は被災地で頑張りすぎる傾向がありストレスを抱えていることが多いのでメンタルケアの支援などを行うとのことでした。そして派遣時期によってニーズが異なることから、避難所にて「心のケア」が必要と判断した際はリハビリのスタッフを派遣し身体を動かしてリフレッシュする支援を、被災者でもある現地看護師の負担が大きくなってきた時期には看護師を派遣し業務サポートや勤務交代など、その時々に合わせてコーディネートをを行うとのことでした。後方支援は、災害支援(派遣)の一連の流れの支援・調整を行う、とても大切な役割であることを学びました。



報告会終了後は、メネット、西那須野教会婦人会の方々が料理した「たけのご飯」など美味しい夕食を参

加した皆さんと頂き、懇談の時を持ちました。まだまだ避難生活が続く方が多くおります。少しでも早く平穏な日常が戻ることを祈るばかりです。

2024年5月第2例会(役員会)

Week 4 Waste 報告

日時：4月26日(金)午後4時30分~

場所：西那須野教会

出席者：田村、村田、の各メンバー

1) 5月例会について

植樹例会を行う。日時：5月18日(土) 10時から(小雨決行)。 場所：那須街道赤松林

2) 6月役員会

日時：5月24日16時30分から 会場：田村宅 次年度計画

3) 聖園那須老人ホームへのタオル等の贈呈について①河野会長ストック分は赤坂さんに取りに来てもらった。②シート等は張さんが裁断を始めたが、手術入院の為田村メネットも裁断して次回贈呈に備える。

4) 張会員は塩原県立病院でリハビリ実施。

※ワールドクリーンアップディーの活動として、午後5時から実施した。参加者：田村、村田のメン、田村、村田のメネット。教会周辺の公共施設の清掃



三島開拓地での孤児教育事業—本郷定次郎の生涯—(6)

副会長 田村 修也

最初に買った狩野村三島大字六拾一番地は二反五畝で肇耕社株主大浦則泰から若林謙次郎そして本郷定次郎が譲り受けて、ここに、彼は戸籍を定めた。現四号国道沿平野医院北側辺りある。この辺の開拓村の風景を、徳富健次郎は次のように描写している。

徳健次郎が日光、塩原を訪れたのは、明治30年10月26日で、西那須野駅前の宿に一泊、同年10月30日人力車に乗って塩原に向かった。小雨の塩原新道を車夫と語りながら三島開墾地事務所や本郷の暁星園にも心をとめ筆を執ったのが、随筆小品「青蘆集」である。同書は明治34年8月民友社から発行された。

日光より塩原に参る筈にて、29日は西那須野の三日月をみて、同停車場前の宿に一泊、明朝微明けを冒して塩原に向ひ候。此間六里、半野路にて、半山路に候。夏なれば馬車も通ひ、馬も通ひ候。今は車のみ。

籠手の上に敷たばしりし昔に引きかへ、今は那須

野も大分開け候。西那須野停車場より関谷まで三里、大道坦々として砥の如く通じ候。大道の左右は細路東西に走りて幾開拓地を劃り、清水の少渠之に沿ひて走り候。栗と薄の野は、人力に征伏されしい部分と錯綜し、百舌鳥鳴くもあたりに水車響き、枯野の末に煙立ち上がり候。併し新開地の事とて桑も野稲も、細々と瘠せ居り候。

狩野村と云ふ一寸した新開町を過ぐれば通庸氏が名残なる三島開墾事務所ありて、庭内には三島神社立ち候。兎に角氏が此あたりに及ぼしたる餘恵思ひやられ候。青木子の開墾地も近くにあり候。本郷定次郎が氏の孤児院暁星園も此のあたりに候。猶関谷近くには1200町歩に及ぶ東海伯の開墾地有之候。総じて此のあたり尤も多きは栗の木、樺もよく育ち候。松ははらはら褐色の野に緑を点じ候。此は野火ゆえ育ち難きとか申し候。(以下略)

寄附者の名前を農園に

園主定次郎は、長女愛が誕生した明治27年8月頃すでに結核の冒すところとなり度々喀血していた。ついに東京赤坂病院に入院加療するに至った。半年ほどの療養生活を経て那須野に帰ったが、治癒したわけではなかった。

毎晩野に出て、風が吹いても大雨に打たれても身動きせず闇の中で、声を嗚らし、涙を流しながら、暁星園児のこと、園の経営の援助を神に祈りを捧げた。もはや人力の能くするところにあらずとて切に天に援けを求めたのである。そしてこのような生活行動を彼は毎日日記に綴っていた。

「・・・のために祈禱を捧げる。私のために受けた見舞金は神への祈りが応えられたとしてすべて園児のための医療器機薬品の購入に、又孤児らの食糧費に辨じた。等々記録している。

翌1895年【明治28年】11月初旬、一時園の仕事を離れて気分転換を考えた彼は、アメリカの社会福祉施設見学と、暁星園の事業を西海岸一帯の邦人に伝えるため、幻灯を用いて演説会を開くなど、募金活動を行うため旅立った。

アメリカに着くと、オレゴン州、カリフォルニア州にある孤児院、盲啞養育院、或いは農場を視察し、心ある人々に暁星園の実情を訴えたところ大いに同情を呼び、即ちサンフランシスコ青年会、金港英学校生徒(ゴールデン・ゲイト・スクール)等から少なからぬ寄附金を受け滞在6ヶ月余、明治29年3月15日帰朝した。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

「神はノアと彼の息子たちを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちよ。地のすべての獣と空のすべての鳥は、地を這うすべてのものと海のすべての魚と共に、あなたたちの前に恐れおののき、あなたたちの手にゆだねられる。動いている命あるものは、すべてあなたたちの食糧とするがよい。わたしはこれらすべてのものを、青草と同じようにあなたたちに与える』」 聖書 創世記9章1～3節

朝の登園時に在園児が新入園児をクラスまで連れて行ってから自分のクラスに行く姿をととも微笑ましく思います。新入園児にとっては、人生において家庭から社会へ初めての一步を踏み出したばかりのところですよ。

さて、幼稚園の自然環境ですが、花壇やプランターには、更生保護女性の会からのチュウリップ、こひつじ保育園評議員の佐藤様からのパンジーも含めた花が咲き、園庭の桜もとてもきれいです。

一方外に目を向けてみれば、戦争、乱開発、様々な経済活動による地球温暖化等が原因とされる気候災害が、日本も含め世界中で多発しています。また、気候難民も増加の一途をたどっています。

9日欧州人権裁判所は、「スイス政府が気候変動から市民を守る十分な取り組みをしなかったことは人権侵害にあたる」とする判決を下しました(朝日新聞2024.4.11)。(註1)

このままでは、地球に住めなくなり、月や火星に移住せざるを得ないSF映画も現実味を帯びてきています。

冒頭の聖書の箇所は「ノアの箱船」の物語の一部です。人間が自然を支配するのではなく、神から共生できるように管理をゆだねられています。

幼稚園には園庭、畑の他に年4回行く山林観察園があります。この幼稚園は、自然と乖離している子ども達を自然に導く役目もあると考えます。こどもたちは、大切な自然との共生についてを体験的に学んでいます。

(註1) そのようなスイスですが、酪農は、景観や環境保護しているということで収入の約6割にあたる補助金を支出しています。

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ
那須聖園老人ホーム
施設長 薄井 高宏

暦の上では、春も終わりに近づく今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この原稿を作成している本日は、先日残念ながら

亡くなられた入所者の火葬を終えたところです。94歳という年齢で亡くなられましたが、終盤は、意思表示ができる状態になく、生活のほとんどに介助を要する生活でした。1か月程前から食事で口を開けてくれなくなり、嘱託医の医師と連携をとりながら支援を行っていましたが、大きな医療機関の各種検査でも目立った疾病は見つからず、口を開けてくれない原因はわからないままでした。栄養補助の補食や点滴、口腔内や嚥下を促す工夫も試してみましたが、思った程効果がなく、ご家族には、今後の判断をゆだねる事となりました。本人は、自発的な意思表示がなく高齢でもあり、今後、劇的な回復が見込める事はないとの判断から、延命は望まず、できるだけ安楽に過ごすことを目標にすることとなり、先日眠るように息を引き取りました。

医療が発達し、日本の平均寿命が世界でもトップレベルである事は、周知の事実ですが、ここに自分はどう終わるかの選択肢が今後積極的にかかわると、一概にも長生きが幸せであるという価値観は、変わってきていると思います。近いうちに、平均寿命を誇るのではなく、健康寿命を誇る世の中がもうすぐそこまで近づいてきています。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、生活にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布(タオル)を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

YMCAだより

【とちぎYMCA2024の新機軸】

とちぎYMCA（公益財団法人とちぎYMCA、学校法人宇都宮YMCA学園、社会福祉法人とちぎYMCA福祉会）の新年度も本格的に動き出しました。6月にはそれぞれの法人単位で「理事会」と「評議員会」が開催され、昨年度の活動と決算が報告される予定です。加えて3か月を経過する2024年度の事業計画と予算の進捗の報告もされる予定です（公財の理事会6/6、評議員会6/21、学法の理事会・評議員会6/19、社福の理事会6/11、評議員会6/26開催予定）。

ところで、今年度からの私たちのYMCAの活動計画には「とちぎYMCA中期計画（2024-2028年の前期4年+2029-2032年の後期4年）」と「Vision2030（世界のYMCAが共に歩む）」とが織り込まれており新機軸を成しています。それ以上に、皆様にご報告申し上げたいのは、2024年からのとちぎYMCAのもう一つの新機軸（古くて新しい/新しくて古い）に「会員による運動と活動」への原点回帰が掲げられていることです。2028年に施行された公益法人改革（公益財団法人とちぎYMCAでは2012年～）以来、法人ガバナンスの洗練と引き換えに、本来のYMCAのルーツである《会員運動組織》としてのアソシエーション性が失われてきた感があります。2024年度からはこれらの新機軸のもと、新しくて懐かしいYMCAがはじまる予定ですので、今後とも那須ワイズの皆さまの一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

【つぼみ RADIO BERRY に出演します！】

高校生ボランティアグループ「つぼみ」が5月25日土曜日 RADIO BERRY に出演します、🎧🎶
番組名は音楽のミナテラスとちぎ、日時は5月25日土曜日8時25分から8時55分で番組内では5分ほどお時間を頂いています🙏
ぜひ！お聴きください！



【那須YMCA 新入生歓迎会】

4月20日（土）に那須YMCAの新入生歓迎会（スポーツ大会）が行われました🏀🏈！

今年もたくさんの新一年生たちが参加してくれ、緊張している場面もありましたが、レクやチームごとでバレーやバスケの試合をやるごとにチームの仲も深まりみんなの笑顔で溢れていました🐱



ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名）2. 学校名3. 出身地4. YMCAに入ったきっかけは？5. 思い出に残った活動とその理由は？6. 今後の進路は？7. YMCAに一言

お休みします